

教科年間学習指導計画
ー シ ラ バ ス ー

北海道苫小牧工業高等学校 定時制課程【令和7年度】

教科年間学習指導計画				国語	学年・クラス	1年工業技術科	
シラバス				科目名	単位数	3	
				教科書	新編 言語文化（大修館・言文706）		
				準教科書	なし		
育成を目指す 資質・能力	知識・技能			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。		
学習の進め方	・教科書を基に、身近な例や社会の出来事などを交えながら読解力を深める。 ・プリントやノートを用いて、学習状況の確認を行う。 ・振り返り学習を行いながら、基礎基本の定着を図りつつ学習を進める。						
学習の留意点	・毎時間の出席を基本とし、学習用具（教科書、ファイル、ノート、筆記用具など）は忘れないこと。 ・わからないことはそのままにせず、その都度質問し、疑問解消に努めること。 ・授業規律を遵守すること。 ・学習、授業の妨げとなるような行動をとらないこと。						
評価の方法	出席状況、提出物の状況、各種テストの得点、授業の取組姿勢などを総合的に判断し評価する。						
授業の内容	学期	月別	時間	単元	評価基準	資質能力	
	1学期	4	1	オリエンテーション	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			8 読書	言葉の森を育てよう	言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。	言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味を持ち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。
			5 8 読書	季節の言葉と出会う	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張を捉えることに興味を持つ。
			6 12 読話	とんかつ	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味を持ち、作品の構造を理解しようとしている。
			8 8 読話	足し算の文化	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。	日本文化の特色について理解を深めようとしている。
			9 7 読書	祖母が笑うということ	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	筆者の経験やものの見方を読み取ることに興味を持ち、自分の考えを味わったりしようとしている。
			15 読書	羅生門	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他社や社会に意欲的に関わろうとしている。
			10 8 読話	いろは歌	文字や言葉の変化について理解を深め古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。	古文を読むことに興味を持ち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。
	2学期	11	7 読書	高名の木登り	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	『徒然草』に興味を持ち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えを持とうとしている。
			7 読書	門出	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	作品に興味を持ち、文章の展開や和歌の内容、登場人物の心情を読み取ろうとしている。
		1	10 書話	訓読のきまり	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えをもっている。	漢文に興味を持ち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。
			7 読書	守株	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	ものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	漢文に興味を持ち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。
		3	7 読書	蛇足	必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	漢文に興味を持ち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。
	計		105				

教科年間学習指導計画
ー シ ラ バ ス ー

教科年間学習指導計画				教科名	公民	学年・クラス	1年工業技術科	
シラバス				科目名	公共	単位数	2	
				教科書	公共（実教・公共704）			
				準教科書	なし			
育成を目指す 資質・能力	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。			現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れたりしながら構想したことを議論することができる。		国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようすることができる。		
学習の進め方	①教科書の内容を中心に、現代社会に存在する諸事象を説明し、生徒の理解を深める。 ②時事問題など身近にある諸課題についての資料を活用し、意欲的主体的な学びを意識した学習を進める。 ③授業プリントなどを用いて学習状況の確認を行う。 ④他の科目など（地理総合、歴史総合、政治経済）と関連させながら、学習を進める。							
学習の留意点	①毎時間の出席を基本とする。授業に使用する物（教科書・ノートなど）は、忘れず準備すること。 ②板書事項はノートに書き留め整理しておくこと。また、授業中に提示される課題は毎時間ごとに取り組むこと。いずれも指定された期限内に提出すること。 ③授業における疑問・質問は放置せずその都度解消するように努め、意見・感想を発言するなど、積極的な姿勢で授業に参加すること。 ④日頃から、社会の出来事やニュースと学習事項との関連性を意識しておくこと。							
評価の方法	出席状況・授業態度・ノートや授業プリントなど提出物の取組み状況・授業時間内に行う単元テストを基に、「評価の観点（3項目）」に照らした評価を元に、総合評価を行う。							
授業の内容	学期	月別	時間	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	資質能力
	1学期	4	4	第1部「公共の窓」 第1章「社会を作る私たち」	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりになる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、その平和を繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて、自覚などを深めている。	主体 自他 継続 コミ 思考 判断 対応 基礎 専門
		5	6	第2章「人間としてよりよく生きる」				
		6	8	第3章「他者とともに生きる」				
		7	4	第4章「民主社会の倫理」				
		8	4	第5章「民主国家における基本原理」				
		8	4	第2部「よりよい社会の形成に参加する私たち」 1) 現代の民主政治と日本国憲法				
		9	8	第1章「日本国憲法の基本的性格」				
		10	8	第2章「日本の政治機構と政治参加」				
		11	8	2) 現代の経済社会と国民生活 第1章「現代の経済社会」				
		12	6	第2章「日本経済の特質と国民生活」				
	2学期	1	4	3) 国際社会と人類の課題 第1章「国際政治の動向と課題」 第2章「国際経済の動向と課題」	第1部の学習で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用している。	地域の創造や、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、ともに生きる社会を築いていくという観点から課題を見出し、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	よりよい社会の実現を視野に入れつつ、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、諸課題を主体的に解決しようとしている。	主体 自他 継続 コミ 思考 判断 対応 基礎 専門
		2	6	第3部「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」				
		3	4					
		計	70					

教科年間学習指導計画
ー シ ラ バ ス ー

教科年間学習指導計画				教科名	数学	学年・クラス	1年工業技術科	
シラバス				科目名	数学Ⅰ	単位数	2	
				教科書	新編 数学Ⅰ（実教・数Ⅰ707）			
				準教科書	なし			
育成を目指す 資質・能力	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。			次の力を身に付けている。 ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。		
学習の進め方	・例題などを用いて解法の解説を行い、それに関連する練習問題に取り組むことで学習の定着を図る。 ・授業内容は各自ノートに記載し、授業の最後に提出する。また、必要に応じてプリント提出を課す。 ・本時の内容や前時の内容の理解度を確認する小テストを実施する。 ・いくつかの単元ごとに内容の理解度を確認する単元テストを実施する。							
学習の留意点	・授業中は学習に集中して取り組み、小テストで確実に得点をとることができるようにする。 ・ノート、プリントなどの提出を課されたものは確実に提出する。 ・学習の障害になると判断される行動をとらない。							
評価の方法	出席状況、提出物の状況、各種テストの得点、授業の取組姿勢などを総合的に判断し評価する。							
授業の内容	学期	月別	時間	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	資質能力
	授業期	4		1章 数と式 1節 式の計算	・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。	・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。	・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	主体 自他 継続 思考 対応 基礎
		5	4	2節 実数				
		6	6					
		8	8					
		7	6					
		8	4	3節 1次不等式				
	9	5						
	2学期		2	2章 集合と命題 1節 集合と論証	・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。	・二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	主体 自他 継続 思考 対応 基礎
		10	5	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ				
		11	10					
		12	5					
		1	4					
2		8						
3		3	2節 2次方程式と2次不等式					
計	70							

教科年間学習指導計画 ー シ ラ バ ス ー

教科年間学習指導計画 ー シ ラ バ ス ー				教科名	理科	学年・クラス	1年工業技術科	
				科目名	科学と人間生活	単位数	2	
				教科書	科学と人間生活（数研・科人704）			
				準教科書	なし			
育成を目指す 資質・能力	知識・技能	・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	思考・判断・表現	・人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に課題を見だし、実証的・論理的に考察・予測をし、見通しをもって実験・観察・分析することができ、またそれを表現することができる。	主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 ・自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて、社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。		
学習の進め方	・各時におけるテーマに関する課題に取り組み、自然現象への理解を深める。 ・教科書の内容に関する課題に取り組み、科学的な思考力を磨く。 ・実験プリントに沿って課題に取り組み、実験の技能や観察力を養う。							
学習の留意点	・授業や実験に関する課題プリントを課すので、期限を守って提出する。							
評価の方法	・出席状況、提出物の状況、各種テストの得点、授業の取組姿勢などを総合的に判断し評価する。							
授業の内容	1学期	4月	5	序編 科学技術の発展	・人間生活の発展において、科学技術の果たした役割について理解し、整理することができる。	・科学技術の発展につながった自然現象とその発見について、考察することができる。	・科学の発展の歴史に興味を持ち、人間生活と科学技術の関わりを意欲的に学習しようとする。	主体 継続 思考 判断 基礎
			5					
			6	1編 物質の科学 ・材料とその利用	・原子の構造、化学結合について理解しており、物質の性質と関係していることを理解している。	・天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え、表現することができる。	・身近にある金属などの種類、性質に関して、その構造や成分の違いに関して考察し、意欲的に学習しようとする。	
			7					
			8	2編 生命の科学 ・ヒトの生命現象	・眼の構造やDNA における塩基の相補性を理解するとともに、その働きや仕組みと関連付けることができる。	・眼の構造と働きや血糖濃度やホルモンの分泌量の変化について、観察・実験の結果を読み取り自分の言葉で表現することができる。	・ヒトの生命現象と生活との関連に興味・関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	
	2学期	11月	10	3編 光や熱の科学 ・光の性質とその利用	・光の波としての性質について理解し、電磁波としての日常生活への利用について整理することができる。	・光の色や赤外線、紫外線の作用など、身の回りに光に関わる現象について科学的に思考し、考察することができる。	・自然界に見られる光に関する現象や科学技術に関心を持ち、科学的な見方・考え方を身に付けようとしている。	主体 継続 思考 判断 基礎
			11					
			12	4編 宇宙や地球の科学 ・太陽と地球	・太陽や月などの運行の周期性と人間生活との深い関わりや、太陽の放射エネルギーと地球の環境への影響を理解している。	・地球が生命の存在できる環境であることを、太陽系の構造、太陽の放射エネルギーなどから総合的に判断して考察し、表現することができる。	・太陽が地球に及ぼす影響や太陽系の広がりや構造について関心を持ち、科学的な見方・考え方を身に付けようとしている。	
			1					
			2	5	終編 これからの科学と人間生活	・科学と人間生活に関する課題について、その研究から明らかにされた結果や関連する事項を理解している。	・科学と人間生活に関する課題について具体例をあげ、今後の人間生活について考え、表現することができる。	
	計	70						

教科年間学習指導計画

ー シ ラ バ ス ー

教科名	保健体育	学年・クラス	1年工業技術科
科目名	体育	単位数	2
教科書	なし		
準教科書	なし		

				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
育成を目指す資質・能力				運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解する。目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫できるとともに、それらを他者に伝えられる。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断できるとともに、それらを他者に伝えることができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができる。				
学習の進め方				・一斉授業及び、男女共修で授業を展開する。 ・単元毎に実技（授業）を進める上で自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることができるようにする。						
学習の留意点				・他との協調性を身に付けるとともに、運動に親しむ姿勢を身に付ける。 ・一斉授業又はグループ学習により、生徒の自主性、協調性、責任感などを育てる。 【服装について】 指定ジャージ・指定上靴を着用すること。						
評価の方法				「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を総合的に判断し評価する。						
授業の内容	学期	月別	時間	単元	評価基準	資質能力				
					知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	自己継続判断基礎 主体継続思考基礎 主体自己継続コミ				
授業の内容	1	4	3	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・集団行動	・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	自己継続判断基礎		
				5	8	・マット運動	・回転系や技巧系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を譲えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	主体継続思考基礎
					6	18	・バスケットボール	・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって相手コートまでやゴールまでの攻防をすることができる。 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・パスなど技術の使い方や、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
		7	8							
				9	6	・体育理論 ・新体力テスト	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	思考判断基礎
	2	11	14	・バレーボール	・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・安定したボール操作と動きによって相手コートへボールを返したり、攻防をすることができる。	・パスなど技術の使い方や、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	判断対応基礎継続		
			12	12	・フットサル	・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって相手コートまでやゴールまでの攻防をすることができる。 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	主体自己継続判断対応	
					9	・バドミントン			主体自己継続コミ判断対応	
計		70								

教科年間学習指導計画

ー シ ラ バ ス ー

教科年間学習指導計画				教科名	保健体育	学年・クラス	1年工業技術科	
シラバス				科目名	保健	単位数	1	
				教科書	現代高等保健体育（大修館・保体701）			
				準教科書	なし			
育成を目指す 資質・能力	知識・技能			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けるようにする。			健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えられるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組めるようにする。			
学習の進め方	①授業に使用する物（教科書・ノートなど）は、忘れず準備するようにする。 ②板書事項はノートに書き留め整理し、授業中に配布するプリントは毎時間ごとに取り組むようにする。 ③ICT機器の活用を検討し、個別及びグループ学習などにおいて意見・感想を発言するなど、主体的に学習に取り組むようにする。							
学習の留意点	①あらかじめ授業に使用する物を準備する。 ②板書事項はノートに書き留め整理しておく。また、授業中に配布するプリントは毎時間ごとに取り組む。いずれも指定された期限内に提出する。 ③授業における疑問・質問は放置せず、その都度解消するように努め、学習内容について発言するなど、積極的な姿勢で授業に参加する。							
評価の方法	観点別評価及び、小テスト及び単元テストの結果を踏まえ、総合的に判断し評価する。							
授業の内容	学期	月別	時間	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	資質・能力
授業の内容	1学期	4	1	オリエンテーション	次について理解している。 ・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。 ・健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 ・健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられることや、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。 ・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。 ・薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから、行ってはならないこと。 ・それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	主体 自他 継続 コミ 思考 判断 対応 基礎
				1. 現代社会と健康				
			2	健康の考え方と成り立ち				
		5	2	私たちの健康のすがた				
			1	生活習慣病の予防と回復				
			2	がんの原因と予防				
		6	1	がんの治療と回復				
			2	運動と健康				
			2	食事と健康				
		7	1	休養・睡眠と健康				
		2	喫煙と健康					
	8	2	飲酒と健康					
		2	薬物乱用と健康					
	9	1	精神疾患の特徴					
	10	1	精神疾患の予防					
		1	精神疾患からの回復					
		2	現代の感染症					
2学期	11	2	感染症の予防	次について理解している。 ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。 ・交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。 ・交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。 ・応急手当には、正しい手順や方法があること。 ・応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。 心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。	・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	主体 自他 継続 コミ 思考 判断 対応 基礎	
		2	性感染症・エイズとその予防					
	12	1	健康に関する意志決定・行動選択					
		2	健康に関する環境づくり					
			2. 安全な社会生活					
		1	事故の現状と発生要因					
学 期	2	1	安全な社会の形成					
	3	1	交通における安全					
計		35						

教科年間学習指導計画
ー シ ラ バ ス ー

教科名	外国語	学年・クラス	1年工業技術科
科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2
教科書	All Aboard! English Communication I (東書・C I 701)		
準教科書	なし		

			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
育成を目指す 資質・能力			【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話された文や書かれた文の内容を捉え、情報や気持ちを言葉や文字、それ以外の手段で伝えあう技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報を聞き取り、読み取って、その概要・要点を捉え、情報や気持ちを言葉や文字、それ以外の手段で伝え合うやりとりをしている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自立的に英語で話そう、聞こう、読もう、書こうとしている。	
学習の進め方			教科書を使って基本的な英語のルール（英文法）と単語や熟語などを学んでいきます。簡単なことから難しい事へ段々に進めていきます。具体的には基本的な表現についての説明と練習の後、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを通して、相手の話を聞きとり、自分の持っている情報や考えを伝えることを重点的に学んでいきます。また、自分たちが直接経験できない様々な地域やその文化について授業を通して知識を深めます。					
学習の留意点			英語学習で大切なことは間違えることを恐れず、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度です。そのためには一人一人がコミュニケーションに必要なジェスチャーを含めて理解しよう、伝えようとする主体的な態度を持たなければなりません。教室では様々な場面を再現することになりますから、互いが協力して学習作業に当たる必要があります。そこで教室では2つのルールを守ってもらいます。①Respect everyone. ②Tell me when you don't understand. (①互いを大事に協力し合う。②分からないときには質問する)					
評価の方法			授業における活動を下の観点で3段階A B Cで評価して、最終的に各観定の点数をまとめて5段階の評定として出します。日常の授業の中での取組すべてが評価対象でとくに授業中の学習姿勢、努力は評価の根幹です。また授業を欠くことは評価すべき内容が少なくなることになりますので欠席が多ければ評価に大きく影響します。授業開始の挨拶から始まる授業全般の取組に加えて、小テスト、パフォーマンステスト、単元テストの結果が評価の内容として加えられます。					
	学期	月別	時間	評価基準				資質・能力
				単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
授業の内容	1学期	4	1	授業内容を知る自己紹介(1)	授業の進め方やルールを知る。自己紹介を聞いて基本のスタイルを知る。	授業の進め方を理解し、どのような取組が必要かを正しく理解する。	しっかり授業に必要な事柄や約束事を聞いて理解しようとしている。	主体基礎 自己
		4	3	Warm-Up アルファベット自己紹介(2)	アルファベットを正しく書ける、自己紹介できる、教室で使われる英語を理解できる。	聞き手に配慮しながら簡単な英語で自己紹介する。	お互いに関心を持って聞こうとしている。積極的に英語で自分を表現しようとしている。	主体基礎 コミ 自己
		5	7	Warm-Up 中学英語の確認	中学で学ぶべき基礎基本となる英文の形や仕組を理解している。	英語の構造や仕組を理解し、その意味が分かる。	積極的に基礎英語を理解し、表現しようとしている。	主体基礎 コミ 自己
		6	3					
		6	4	Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko	be動詞・be動詞の否定文と疑問文を理解する。	基本的な英文法が理解でき、自身や他者について伝えられる。	しっかり説明を聞き、プリント練習や言語活動に積極的に参加している。	主体基礎 コミ 自己
		7	4	Pre-Lesson2 I Like Junk Food!	一般動詞・否定文と疑問文を理解する。	基本的な英文法が理解でき、自身や他者について伝えられる。	しっかり説明を聞き、プリント練習や言語活動に積極的に参加している。	主体基礎 コミ 自己
		8	4	Lesson 1 Breakfast around the world	外国の朝食について読む。過去形の作り方を理解する。	「～した」の意味になる過去形の作り方を基本的な動詞を使って理解する。	外国の食文化を理解し、文化の違いを受容しようとする。「過去にしたこと」について積極的に伝えようとしている。	主体基礎 コミ 自己
		9	2					
		9	6					
	2学期	9	1	単元テスト				主・基
		10	7	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	オーストラリアの珍しい動物について読む。 進行形を理解オス	「～している」の意味になる進行形の作り方を理解し、簡単な英語を使って表現できる。	オーストラリアの珍しい動物について知ろうとしている。 「全1アリス・ト」について積極的に	主体基礎 コミ
		11	3					
		11	3	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	三陸鉄道の女性運転士について読む。助動詞について理解する。	助動詞のcan を理解して、ある場所のできることにについて表現できる。	助動詞を使って自身のできることを積極的に伝えようとしている。	主体基礎 コミ 自己
		12	7					
		1	4	Lesson 4 A Miracle Mirror	ボリビアの絶景で知られるウユニ塩原について読む。助動詞willの用法を理解する。	助動詞のcan, will を理解して、さらに他の基本的な助動詞とその用法を理解する。	助動詞を使って自身の今できること、今後しようと思っていることを積極的に伝えようとしている。	主体基礎 コミ 自己
		2	2					
		2	4					
3	4	1年間のまとめ	既習文法事項を理解する	既習事項の用法を理解して文章を読んだり書いたりする。	既習事項を用いて書いたり、ことばで伝えようとしている。	主体基礎 コミ		
計		2	1	単元テスト				主・基
		70						

教科年間学習指導計画 ー シ ラ バ ス ー

教科名	工業	学年・クラス	1年工業技術科
科目名	工業技術基礎	単位数	3
教科書	工業技術基礎（実教・工業701）		
準教科書	なし		

				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
育成を目指す 資質・能力				工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身に付けている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、広い視野から自ら思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し、伝える能力を身に付けている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身に付けている。	
学習の進め方				(1) 1週目に実習室の見学などのオリエンテーションを行い、安全な実習方法を学ぶ。 (2) 基礎作業の指導に入る前の4週間にてもものづくりに必要な設計図の見方や測定工具の使用法を学ぶ。 (3) 1学期・2学期ともに、3班に分かれ、ローテーションで3項目の実習内容を行う。			
学習の留意点				①担当の先生の指示を厳守し、安全第一で実習を行う。 ②可能な限り授業を欠席しない。 ※欠席をしてしまった場合は、各実習担当の先生のところへ補習などの対応を依頼する。 時間内で作品や課題を提出できない場合も、同様に補習などの依頼を行い、すべての課題を完成させる。			
評価の方法				実習項目毎に評価を行い、学年末に全担当の先生で協議し決定する。			
授業 の 内 容	学期	月別	時間	単元	評価 知識・技能	基 準 思考・判断・表現	資 質 主体的に学習に取り組む態度
	1 学 期	4	3	オリエンテーション			
		5	3	設計図の見方の基礎指導 測定工具の基礎指導 基本作業編 機械加工の基礎 旋盤 木材加工	工業の各分野で必要な空間認識能力と測定の基礎を元に 応用ができる能力を養う。	工業の各分野で必要な空間認識能力と測定の基礎を養う。	工業の各分野に必要な能力を高めるために積極的な取り組み態度を身に付けている。
			9				
		6	12				
		7	6				
		8	6				
		9	6				
	2 学 期	10	12	基本作業編 機械加工 溶接・ろう付け 木材加工	・学ぶ目的をよく理解し、ものづくりが工業技術の中で果たしている役割についての知識と技術を身に付けている。 ・事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身に付けている。 ・金属と木材に関する基礎的な知識を身に付け、その活用法の基本的な技術を身に付けている。	・何をどのように学ぶのか適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身に付けている。 ・事故防止と安全作業について、つねに思考・判断し、その改善向上に役立つ適切な表現力を身に付けている。 ・木材とコンクリートに関する基礎的な特質について思考・判断し、その活用法を表現する能力を身に付けている。	・工業の各分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験や実習に主体的に取り組む態度を身に付けている。 ・事故防止と安全作業に主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組む実践的な態度を身に付けている。 ・木材とコンクリートに関する基礎的な知識を主体的に身に付け、その活用について意欲的に取り組む態度を身に付けている。
		11	12				
		12	9				
		1	6				
		2	12				
		3	9				
計	105						

教科年間学習指導計画
ー シ ラ バ ス ー

教科名	工業	学年・クラス	1年工業技術科
科目名	工業情報数理	単位数	2
教科書	工業情報数理（実教出版・工業718）		
準教科書	なし		

				知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
育成を目指す 資質・能力				・身近な工業事象を合理的に数理処理するため知識・技能を理解している。 ・身近な工業事象を関数電卓やコンピュータなどを活用して、数理処理をする技能を身に付けている。 ・コンピュータ社会の意義や情報モラルを理解している。			・身近な工業事象の解決に数理処理を活用したり、必要に応じてプログラムを用いたりすることで思考を深め、適切に判断することができる。 ・身に付けた知識から、ネット上にある情報の善悪を区別することができる。			・工業の各分野における工業事象の数理処理において、習得した知識を活用して粘り強く考え判断しようとしている。 ・プログラムの利便性を理解し、積極的に活用できる。 ・コンピュータ社会や情報モラルについて興味・関心を持ち、利便性や課題について考察を深めることができる。				
学習の進め方				・数理処理が確実に身につくよう、基本的な数学の要素も含めて授業を展開する。 ・板書や他の提示物はノートに記載し、授業の終わりに提出する。 ・必要に応じてプリント課題を課す。 ・単元終了ごとや必要に応じて小テストや単元テストを実施する。										
学習の留意点				・学習に集中して取り組むこと。 ・ノート、課題などは確実に提出すること。 ・学習の取組に不必要な言動（雑談や大声、携帯電話などの使用）をとらないこと。										
評価の方法				出席や提出物の状況、各テストの得点など、授業に取り組む姿勢を総合的に判断し、評価する。										
	学期	月別	時間	単元	評価基準			資質能力						
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	能力						
授業の内容	1学期	4	5	第10章 数理処理 第2節 実験と数理処理 2 有効数字と小数点 指数 四則計算	・有効数字や小数点の表し方や意味を理解することができる。 ・四則計算に関する基本的な概念を理解し、関数電卓やコンピュータを用いて計算することができる。 ・それぞれの関数の成り立ちや意味を理解することができる。 ・SI単位について理解するとともに、単位換算ができる。	・数と量を適切にイメージし、表記することができる。 ・関数や計算式について、既に学習した計算方法と関連付け、目的に応じて適切に計算することができる。 ・SI単位や単位換算の性質を適切に判断し、表記することができる。	・数や量、関数などの課題について習得した知識を活用しようとし、粘り強く考え判断しようとしている。 ・諸処の数理計算や換算の過程を振り返り、考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	主体 継続 思考 判断 基礎 自他 対応						
		5	7	第1節 単位と数理処理 3 指数法則										
		6	9	平方根										
		7	2	関数 三角関数										
		8	5	確率										
		9	7	1 量記号と単位記号 2 国際単位系 (SI) 4 単位換算										
		2学期	10	7					第1章 産業社会と情報技術 第3節 1 知的財産権 3 プライバシーや他人の権利の保護	・情報化社会におけるモラルを理解し、不正な書き込みの影響を理解している。 ・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解することができる。 ・プログラム作成に関わる流れ図と言語を理解することができる。	・インターネットやネットワーク上にある情報の善悪を区別することができる。 ・簡単な数理処理を流れ図や言語に置き換えることができる。	・コンピュータの知識・情報モラルについて興味・関心を持ち適正な情報管理や発信について考察を深めている。 ・プログラム言語に興味・関心を持ち、積極的に活用して数理処理に取り組んでいる。	主体 継続 思考 判断 基礎 自他 対応	
			11	8					第4節 1 コンピュータの不正利用対策 3 情報の不正利用防止					
				12					8					第3節 流れ図とアルゴリズム 1 流れ図 2 アルゴリズム
									5					第5章 Cによるプログラミング 第1節 Cの特徴
			12	4					2節 四則計算のプログラム					
7	3節 選択処理													
4	4節 繰り返し処理													
計			70											